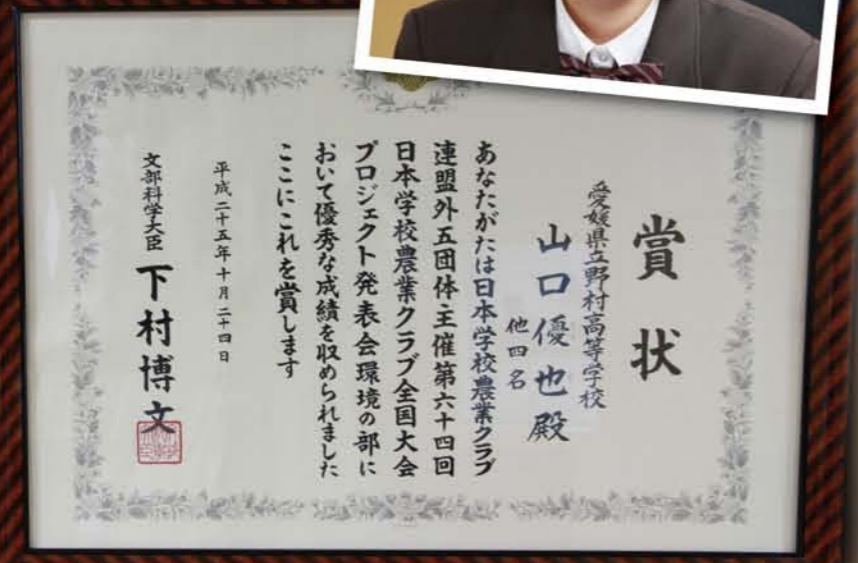


議会だより

第39号
12月
定例会
2013
2014.1.20発行

- 12月定例会……………P2
- 視察報告……………P7
- 常任委員会……………P4
- 一般質問……………P8



特集 P15

文部科学大臣賞受賞 野村高校

西予議会だより 第39号 http://www.city.seiyo.ehime.jp/gikai/ E-mail gikaijimu@city.seiyo.ehime.jp

日本一の椎茸生産 (野村町予子林)

予子林は、四国カルスト大野ヶ原の麓にある、小さな集落です。戦後は、養蚕・タバコ・林業で生計を立てていましたが、時代の変化とともに、産業も大きく様変わりして、今では、シイタケ、野菜、畜産などが主に生産されています。その中で、10戸余りの農家が、原木シイタケ生産者組合を立ち上げ懸命に頑張っています。



しかし、市場は厳しく、中国産による価格の暴落、リーマンショックによる消費の低迷、やっと落ち着きを取り戻したかと思えば、福島第一原発による風評被害と、一原発による風評被害と、苦難の道を歩み続けてきました。それでも諦めることなく、いいモノづくりを目指して、ひたすらに頑張ってきた甲斐あって、平成20年以降の国・県の品評会では、林野庁長官賞、全農会長賞、愛媛県優秀賞などを必ず受賞、平成23年には、農林水産大臣表彰を受け、品質日本一の椎茸となりました。



1つ1つに袋がけ

西予市の生糸 式年遷宮に奉納

伊勢神宮式年遷宮は20年に一度、内宮・外宮・及び14の別宮すべての社殿が新しく建て替えられます。また、装束・神宝のすべての類も新調されます。その中に西予市内で生産された「生糸」がいろいろな分野で使用されました。このことにより特別参拝が許可され、三好市長、養蚕農家及び関係者23名が参拝をしました。



当日は神宮装束部技師・采野氏の出迎えを受け、新御正殿内の敷石に進み参拝、その後旧御正殿内に入れていただきました。宮本技師の案内で、内宮の御正殿の参拝、それに続き、神宮装束部長・熊谷氏より、「西予市の生糸の提供を受け、無事遷宮の儀が終了しました。」と感謝とねぎらいの言葉をいただきました。

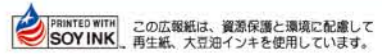


養蚕農家のみなさん

編集後記

新年あけましておめでございませう。より良い「議会だより」になるよう努力していますが、読みやすくなったでしょうか。議会では、基本条例に基づき、11月に城川・三瓶・明浜にて意見交換会を行いました。その結果や成果については本紙にて報告する予定ですが、提案された意見に対して、対応しきれないかもしれません。スピードに欠けますが、次号にて、詳しく掲載いたしますので、よろしくお願ひ致します。

- 編集委員
- 委員長 井関 陽一
 - 副委員長 中村 敬治
 - 委員 源 正樹
 - 二宮 一朗
 - 兵頭 孝学
 - 宇都宮 明宏
 - 元親 孝志



若者に 夢のある町づくりを



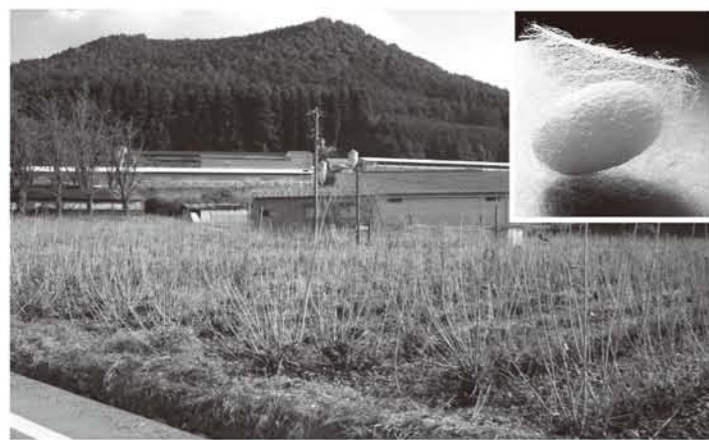
西予市議会 議長 浅野 忠昭

新年あけましておめでとうございませう。

西予市も合併10年という大きな節目を迎え、過去をしっかりと検証して、これからの未来を築きあげていかなければなりません。少子高齢化に苦しむ地方において、長引く国内経済の低迷と相まって、若者が安心をして定住できる環境が十分に確保できていません。何としても若者が生き生きと活動できる町づくりを、推進していかなければなりません。そのためには、市民の皆様の声を真摯に受け止め、皆様の『声を、思いを』行政の推進に生かして参ります。議員自らが研鑽をつみ、議論を重ね、皆様の負託に応えられるよう全力で議会運営に努めてまいります。皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈りいたします。年頭のご挨拶と致します。

西予市の生糸 式年遷宮に！

12月定例会が12月2日から18日までの会期で開催されました。主な議案は、条例制定及び一部改正5件、契約及び規約変更等10件、補正予算9件、請願1件、陳情3件、意見書1件でした。



新城の稚蚕飼育所(宇和)

◎養蚕振興対策事業(100万円)

J A東宇和養蚕部会の稚蚕飼育所運営費に対する補助金



ロールペーラー

◎国産粗飼料増産対策事業(1,541万円)

自給飼料生産の拡大・効率化に必要な農業機械の導入に県補助事業が新設されたため増額

◎災害用資機材 施設整備事業 (601万円)

緊急津波対策推進事業費で明浜・三瓶地域で津波避難路ソーラー街路灯等の整備を行う



◎米博物館管理運営事業(596万円)

米博物館のよう壁に亀裂が発生しているため、排水路の設置と、次年度に実施予定のアンカー工事の設計を行う



米博物館のよう壁

◎森林そ生緊急対策事業(5,500万円)

林道専用道3路線の整備事業費を増額する



ウシオニ支線(城川町野井川)

◎漁協関連各種補助金事業(753万円)

多額の累積赤字に至り、経営再建中の八幡浜漁協に対し、その財務改善計画に基づく支援を関係機関と共同で行う



八幡浜漁協 三瓶支所

◎ジオパーク推進基金事業(1億円)

今後実施するソフト事業・ハード事業の財源とするための基金



看板等の着実な整備を

◎公共施設整備基金事業(2億円)

今後必要となる公共施設の解体撤去事業等の多大な財政負担に備えるための基金



補正予算に対する質疑

議案第116号 基金積み立てが114億円になっているが、議会・市民が目的に沿って基金の運用を提案すれば検討されるのか。

市長 目的に沿っていけば検討いたします。

議案第120号 新病院の住所の変更に伴い、医師住宅の住所も永長になるのか。

市長 自治会との関係が想定されるので、検討をさせていただきます。

議案第121号・122号 八幡浜・大洲地区広域市町村広域組合の今後の展望について。

市長 組合の機能は終わったと思っています。今後はこの組織を別な目的で利用できないか検討したい。

議案第126号 駅前開発の減額補正はなぜか。災害用資機材・施設整備の内訳は。

総務部長 国の補助金の減額決定によるものです。今年度で打ち切りになります。災害費の内訳は、三瓶町3ヶ所、明浜町4ヶ所です。

新病院名称決定 「西予市立西予市民病院」

厚生常任委員会

游の里ふれあい広場

- Q 利用料金算定の根拠は。
- A 農園及び農園周辺の整備に係る費用や水道料金等のほか、他の農園の料金設定も参考にしています。

高齢福祉課

西予市民病院

- Q 新病院の条例改正時期が早いのでは。
- A 今後、パンフレット作成・サイン(案内表示等)計画等準備のために正式な名称が必要になるためです。

新市立病院

煙感知器の誤作動

- Q 普段の管理チェックは。
- A 消防法に基づき保守点検業者によって年2回実施し、不良箇所があればその都度対応しています。

野村病院

コミュニティー農園に有効活用



游の里前のあき地

コミュニティー農園は、1区画6m×7mの42㎡、全15区画を1区画当たり年間5,000円で貸し出す計画です。

電気料金の高騰

高圧電流は、7月から平均14.72%、低圧電流については9月から6.1%の値上げとなっています。

福祉・病院・水道

事業統合説明会

- Q 今後の取組み計画は。
- A 21回の説明会で多くの意見を頂きましたが、参加数が少なかったためCATVで説明を放映していく予定です。

水道課

電気料の影響は

- Q 水道料金に転嫁するのか。
- A 算定は総括原価方式のため、将来において加味すべきものと判断しています。

水道課

「命を守る 避難訓練を」

総務 常任委員会

総務常任委員会

70人減少

- Q 26年三瓶、27年明浜・野村の小学校統廃合による教員減少数は。
- A 約70人であり、南予は統合が進んでおり、中予方面への異動もあり得ると思われれます。

学校教育課

避難訓練

- Q 市全体での訓練は。
- A 県の防災センターにも問い合わせしていますが、津波対策、土砂対策と対応が異なる為、地域毎に行っています。次年度には検討します。

危機管理課

通勤手当

- Q 変更の理由は。
- A 国から県の基準に見直すもので、対象者は630人であり、現在5,243万円から6,119万円になる予定です。

総務課

宮城県山元町、新潟県十日町市・長岡市視察



ガラス張りの議場(新潟県長岡市)

山元町では、西予市から派遣されている稲垣専門員の激励と原発事故の影響、十日町市では、廃校利用と小中一貫教育、長岡市では、空き家対策条例と市民協働拠点(アオーレ長岡)を研修しました。

意見書

地方財政の拡充に関する意見書

内容が西予市の実情と必ずしも一致しておらず、文面にも不適切な箇所があるなどの意見が出され、全員一致で不採択と決しました。

不採択

請願

議員定数削減を求める請願

平成24年に3名の削減を行っており、議員の努力や行動力をつけることが先であり、定数減は地域の偏りを起こし易くなるなどの意見が出され、不採択と決しました。

不採択

業者に利益を

Q 入札予定価格を利益の出る設定にできないか。

A 各課より算定されて上がっているの、今後、実勢が予定価格に反映されるよう考慮したい。

監理用地課



夜間議会報告会(飯田市)

議会による市民との意見交換会を視察

議会活性化特別委員会

特別委員会

視察先及び目的
10月7日〜9日に先導地の長野県飯田市議会、塩尻市議会、松本市議会を視察し、意見交換会の実施状況や議員全員協議会の運営方法、決算審査の在り方、議員間討議について研修しました。

内容
飯田市議会による夜間の議会報告会では、100名以上の市民参加があり、全体会・分科会ともに活発な意見が出ていました。また、3市とも議員全員協議会は、会議規則で運用され、決算審査については9月議会で決算特別委員会を立ち上げている議会もあり、継続審査後、閉会中に審査、結果は12月議会冒頭で報告し、市長へ提言、翌年度予算に反映できるシステムとなっています。

今後の取組
議員間討議も活発に実施されている議会がありました。当市議会として、初めての取り組みとなった「市民との意見交換会」は、多くの市民の参加と活発な議論が行えるような環境づくりの重要性を実感しました。議員全員協議会は、会議規則に定め、正規の議会活動にするか検討していく必要があります。また、決算特別委員会が設置されていないのは、県内で西予市だけであり、早急に設置することで、適正なチェック活動と成果が求められています。議会は、議員間討議を活性化し、議決機関として機能するだけでなく、政策提言できるようなレベルの向上を図る必要があります。



アタカ箕沖AQUAを見学

視察先及び内容

アタカ箕沖AQUA
(広島県福山市)
従来のし尿処理施設のマイナスイメージを払拭

環境衛生施設建設特別委員会
平成28年度の竣工に向けた、宇和町稲生地区に建設が予定されている環境衛生施設について、その安全性と機能性はもとより将来にわたって良好な周辺環境を確保するため、先進事例を視察しました。

安心・安全な施設を探索

環境衛生施設建設特別委員会

するべく、最も新しい施設を視察しました。去年4月に稼動開始され、水処理方式は膜分離高負荷脱窒素処理方式を採用。処理された汚泥の資源化については助燃剤化を実践していました。また、施設はネーミングライツ(施設の命名権を付与により、企業から収入を得ていました)。

備北衛生センター
(広島県庄原市)
水処理方式は福山市の施設と同じく膜分離高負荷脱窒素処理方式を採用していましたが、2年前に処理工程の肝となる膜分離装置の方式を変更し、コスト削減に成功していることに着目し研修しました。



備北衛生センターにて

研修の成果

- ①膜分離高負荷脱窒素処理方式は、排水量が少量且つ安全性が極めて高い。
- ②臭気対策は万全で屋外の臭気は全く無い。
- ③施設内も清潔であり面積もコンパクト。
- ④膜分離装置の考察で将来的なランニングコストの抑制が図られる。

ジオパーク推進基金条例を新設

産業建設 常任委員会

産業建設常任委員会

青汁生産体制は

- Q 原料は確保できているのか。
- A 西予市内だけでは原料が不足しており、他地域からも仕入れています。

農業水産課

八幡浜漁協支援のあり方

- Q 行政として積極的な関わりが必要ではないか。
- A 国や県・他市町など関係機関と連携し、漁協の重要性を鑑みて対応していきます。

農業水産課

ジオパーク推進基金条例

地域活性化のため、持続的な事業費の財源とするための条例です。一般財源より1億円を積み立てます。

商工観光課

所管事務調査



鳥居門修復工事を視察

卯之町の町並みの中にある鳥居門・御成門の修復工事が行われています。柱などの木材だけでなく、金具や土壁など使用できるものはすべて再利用されていました。



撤去した土壁を再利用

陳情

西予市の地酒(日本酒・本格焼酎)で乾杯を推進する条例制定を求める陳情

市産品利用促進という趣旨は理解できますが、条例規定には馴染まないため、趣旨採択と決しました。

趣旨採択

陳情

TPP交渉からの撤退を求める陳情書

特に農業分野への影響が心配されますが、政府間交渉を見守るべきとの意見があり、趣旨採択と決しました。

趣旨採択

米博物館 よう壁修理

Q 事業内容は。

A よう壁に亀裂があり、雨水侵入防止のための排水路設置と次年度実施予定のアンカー工事設計料です。

商工観光課



小野 正昭 議員

夢発進 四国西予ジオパーク

西予市の活性化に期待

問 第72回えひめ国体、西予市大会に向けて、第68回東京国体視察の成果は。今後、市民への周知と協力、例えばキャッチフレーズの募集や啓発旗の作製は。

教育部長 当市で開催される成年女子ソフトボールと相撲会場の2ヶ所を国体準備委員会を中心とした10名で視察いたしました。ソフトボール会場は、西予市と同じく球場と多目的グラウンドを使用しており、競技施設状況、ボランティアスタッフの配置、売店設置等会場内外



東京国体相撲会場(大島町)

を含め参考となりました。相撲会場では、仮施設の設置状況、シャトルバスの運行状況、一般観覧者の接遇等、西予市においても大変参考になりました。

問 ジオパーク認定後の動きについて、市内外へのPR、お土産品の開発や市役所職員間の連携は。今後の事業計画の内容は。

市長 市内外の皆さんへのPRについては、様々なメディアを活用、各団体・企業へのロゴマークの使用などに努め、お土産品については、四国西予ジオパークの産品であることをアピールするため、民間業者からの提案をお受けし、地域産品を活用した六次化商品開発に努めました。職員間の連携については、職員で構成する「西予ジオパーク構想推進委員会」を設置し、互いの連携や情報交換を行っております。事業については、西予市において広範囲に繰り広げられる事業を考慮しております。例えば、ジオポイントの説明看板・案内標識等の整備、トイレのバリアフリー化、見学路の安全対策等、早急に検討します。



ジオサイクリング(野村~城川)

問 認定されたジオパークを活用し、今後の地域活性化に繋げるしくみの一つとして県が推進しているサイクリング事業との連携は。世界ジオパークに向けた可能性・その考えはあるのか。

市長 県と連携しながら、ジオパークを楽しめるサイクリングコースの整備や、西予市独

自でもジオパークを活用するために、ジオポイントをコースとして選定したサイクリングマップを作成し、サイクリングの誘致を図ります。世界ジオパークについては、日本ジオパークとして他地域に負けない活動や外国人観光客を意識した環境整備、国際的な交流を進めることにより、不可能ではないと考えております。

徹底した空き家調査を

中1ギャップの解消にむけて



井関 陽一 議員

問 10月に行われた空き家に対する調査の内容と結果は。不動産業者と連携した空き家バンクの対応は。

総務部長 10月に行われた国の住宅土地統計調査の結果発表は26年7月の予定であり、現段階での公表はできませんが、来年度中には、西予市での調査を行います。空き家バンクは、定住促進に有効な手段であると認識していますが、行政で一方的に行うと、移住後に住民とのトラブルの可能性もあり、不動産

業者との連携など今後検討します。

問 野村町での学校再編により残された小規模校児童の中1ギャップへの対応は。小中高と一般社会体育も含めたスポーツ体系は取れないか。通学路の危険個所の認識と対策は。

教育部長 小中一貫教育が中1ギャップ解消に大変有効な方法であることは認識しております。



小中一貫教育研修(新潟県十日町市)

教育委員全員でも、異づくばで視察を行いました。野村の小規模校(現在、大野ヶ原9名・惣川6名)については、地理的条件など難しい点もありますが、現在も体験学習などを実施しており、今後も内容の充実を図ります。19年3月にスポーツ振興計画を策定しており、総合型スポーツクラブを中心とした取り組みがベストだと考えます。学校の部活に無い種目や連合チームでの学校行事における大会参加については、今後検討します。通学路の56カ所に対策の必要な所があり、対応の難しい所、短期的に対応のできない所は、パトロール・指導・ボランティアなどのソフト面に対応し、全てに対して何らかの対応をしています。



対策が待たれる耕作放棄地

問 今後増加する耕作放棄地を「徴農制度」によりメタボ対策と農業振興につなげられないか。

産建部長 耕作放棄地は、再生可能なものが192.7ha、不可能なものが1千351haあります。大変斬新な提案であり、狙いについては理解できます。

農業に関心のあるOBの方に健康づくりを兼ねて耕作して頂く事は良い事だと思えます。

市長 農地の問題は大変難しい面があり、特に貸し手の問題があるとされます。特定農地貸付に関する農地法の特例など十分に研究される必要があると思えます。



宇都宮 明宏
議員

特産品注文の パンフレット作成は

関係団体に指導すべき

問 バスツアー内での移動時間を有効に使うため、特産品の注文パンフレット作成の指導はできないか。

産建 部長 当地域の地場産業はまだまだ小規模・脆弱な面があるため、行政の関与、参画により産業振興を図っています。

今後、西予市の特産品を全国の方に広く知っていただくためには、この秋認定になりました「四国西予ジオパークの特産品」といったイメージアップ戦略も加えながら各生産者や商工会など関

係団体と、より一層の連携を深めます。バスツアー旅行者に対して、車内での特産品のチラシやマップ等の配布に向けた協議、並びに地元産品の注文パンフレットの仕組みづくりの指導等も行っていきます。



ANA誘遊四国バスツアー

問 来年度以降の地方交付税と基金の見通しは。

市長 今年度算定による、合併算定替えの特例措置が全くなかった場合の影響額は約26億円となります。

これが1年目の平成27年度で1割の約2億6千万円減となり以降段階的に削減されて、5年目の平成31年度で9割減の約23億4千万円減、平成32年度は約26億円減となります。基金につきましては、今後の方針に影響されませんが、現状のままだと財政調整基金をはじめ目的基金についても基金残高は減少していくと見込んでいます。



ひろがる都市と地方の格差

問 来年4月から消費税率が5%から8%になるが、地方都市への影響は。

総務 部長 消費税率の変更にもない地方交付税への充当率が29.5%から22.3%になり、消費税交付金への充当率が1%か

ら1.7%になります。

平成24年度の消費税交付金の額は西予市が約3億3千万円、松山市が約46億7千万円です。これを単純に1.7倍すると西予市は約2億3千万円、松山市は約32億7千万円の増額となります。

装したらいいのではないか。



パーキングパミット

福祉 部長 西予市内では、32施設59台の駐車スペースがあります。ライン表示に合わせ、案内看板や案内ステッカーを添付したカラーコーンを設置し表示しています。カラー舗装については、必要性や効果を検討します。

問 物品の入札時に辞退が多いのはなぜか。また、自動車等においては予定価格と落札価格に大きな差がある。安く入札出来ればいいとの考えではなく、最低価格を設けるなどして市内の業者に利益が得るような方策はできないのか。

福祉 部長 登録は、対象者6千622名のうち希望された2千342名で35%です。名簿は、市内の民生児童委員と自主防災組織4地区に交付しています。今後の活用は、自主防災組織の連絡会議で周知等を行っていきます。また、活用を希望されるときは、社会福祉課で受付けていきますのでご利用下さい。

福祉 部長 登録は、対象者6千622名のうち希望された2千342名で35%です。名簿は、市内の民生児童委員と自主防災組織4地区に交付しています。今後の活用は、自主防災組織の連絡会議で周知等を行っていきます。また、活用を希望されるときは、社会福祉課で受付けていきますのでご利用下さい。

忘れまじ 3・11東日本大震災

南海トラフ地震対策を急げ

総務 部長 点検後要望があった箇所の補修工事は、平成24年度25ヶ所・2千900万円、平成25年度14ヶ所・2千400万円を要望のあったすべてを完了、または改修を予定しています。

問 避難路や避難場所を総点検後、修繕等の進捗状況はどうか。

災害時の要援護者名簿の登録・作成状況と活用はどのようになっているのか。また、自主防災組織や区長が利用するにはどのようなようにしたいのか。



二宮 一朗
議員



手すり等の避難路を整備



三楽園施工前(三瓶)

問 障害のある人や妊婦・高齢者が必要な駐車スペースに、該当しない方が駐車されているのを見かける。パーキングパミット制度は、その場所を必要としている人のための制度なので、市民の皆さんに理解してもらうためにも、駐車スペースをカラー舗

装したらいいのではないか。



源 正樹 議員

観光振興への取り組みは 重伝健「卯之町の町並み」を 活かすために

問 平成21年12月8日に保存地区に認定され4年が経過した。市指定有形文化財である鳥居門と御成門の改修工事が進められており、地区景観修景が進められている。現在は、保存と振興に分けて取り組んでいるが今後どのような方針で卯之町の町並みの観光振興に取り組むのか。

部長 重伝健選定は、専門的見地から卯之町の町並みが有する伝統的な価値が認められた結果です。しかし、町並みの景観は、まだまだ未



卯之町の町並み(宇和)

整備な物件が多く、観光を求める方には十分な満足感が得られる状況ではないと考えています。保存・振興・観光と住民の生活は一体であり、生き生きとした情緒豊かな佇まいで卯之町らしい町並みとなるよう取り組んでまいります。

問 空き家対策は、条例制定により、助言や指導勧告及び命令及び代執行により改善する可能性が高い。今後は必要に応じて空き家の管理・処分費用の一部助成や貸付を行う必要があるのではないか。

問 平成17年から市職員が参加する西予市男女共同参画推進委員会を設置されているが内容は、生産年齢人口が今後減少する中、特に高齢化が進む西予市においては、女性の活躍が必要であり、その支援体制が急がれるのではないか。



男女共同参画推進委員会

総務部長 空き家対策に取り組みが中、西予市でも条例制定を視野に入れ検討しています。解体費助成は、個人財産の処分には公的資金を投入する問題面もあるため慎重に検討すべきと考えています。調査の結果を踏まえ、一定の条件を附して除却誘導するための補助制度については必要があると考えており、具体的に検討します。

副市長 推進委員会では、職員が率先して男女共同参画の視点に立ち行動できるよう学習し、市における男女共同参画意識の浸透を目指しています。また、力をつける連続講座開講や、育児中の方の研修会等参加支援として、臨時託児所開設のための保育士バンク制度を設置しています。

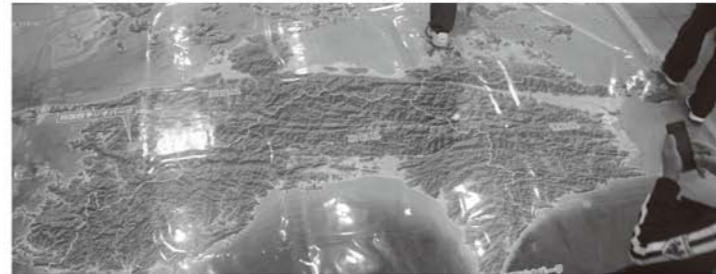


田中 徳博 議員

走り始めたジオパーク 今日、明日をどう迎える？

問 認定後のジオパークについて、の動静や、問題点とその対策は。おもてなしとして農家民宿や民泊、地元農産物の提供は。

産建部長 「ジオの恵み」として、市をアピールするためのロゴマーク使用の提案、観光客のモニターツアー、スポーツイベント、市民団体のジオツアーなどが活動し始めております。また、ジオポイントの説明看板や、案内標識の整備、バリアフリーのト（イレ、見学路の安全対策



乙亥会館に設置されたジオ位置図

等、デザインの統一化も併せて進めたい。また、市民の理解や参加を促す環境整備の一環として、「グリーンツーリズム事業」等を活用し、西予市有機農業推進協議会の取り組みや各種団体の事業費の助成をしております。

問 新病院建設の工事進捗状況等。職員の「接遇」「マナー」等患者の満足度の向上に向けての研修や人材育成、また、開業に向けてのシミュレーションは。

公営部長 現在、躯体工程を10日程の遅れで、概ね順調に進捗していますが、今後予定している内装工事において、廃業・離職等により建設技能労働者の確保が困難となり、市として2ヶ月の工期延伸やむなしと判断しました。優れた人材を育成するためにキャリアアップ研修、資格取得のための研修、今後の管理者養成のための研修など、年間研修計画作成し、積極的に研修に取り組んでおります。

新病院に向け、職員一丸となって意識改革や接遇の向上を目指し、患者満足度を上げる取り組みや、外部講師による全職員を対象とした接遇研修を行っています。

問 有害獣の被害対策について、イノシシ用の箱ワナの配布が大方終了したので、小型動物用箱ワナの配布を検討していきたいということだったが、どのような検討をされ、配布はいつになるのか。

産建部長 小型動物用箱ワナの導入について、6月27日に開催された、西予市鳥獣被害防止対策協議会総会において、小動物用捕獲檻を導入する事業計画と購入予算が承認され、11月までに47基を購入しました。柑橘被害の多い、明浜、三瓶地区に29基、宇和・野村・城川地区に18基を各支所に配付し順次、狩猟免許取得者へ貸与を進めているところです。



建設中の西予市民病院(H25.11月時点)

畜産バイオマス発電の促進を

市中心部にある黒瀬七城の環境整備へ積極的な取組を



中村 敬治
議員

問 大野ヶ原で進んでいる、畜産排せつ物を利用するバイオマスメタンガス発電事業の進捗状況は。その事業主体や事業への補助金は。

産建部長 西予市バイオマスタウン構想に関連するメタンガス発電施設は、東宇和農協が主体となり関係機関が参加した研究会やJ A内に建設特別委員会が設置され検討中です。事業費は1億円以上2億円未満を想定し、畜産排せつ物日量20tで発電機は25Kw/hrを2台。売電を目標しており補助金は無



市役所の裏手にある黒瀬七城跡

問 宇和運動公園を半環状に取り囲む、中世宇和の西園

く自己負担の見込みです。

寺氏の黒瀬七城には城跡と土塁等が残っており、眺望も良く本格的な調査を期待している。当面は市が中心となって、各種団体の協力を得ながら効果的な環境整備を進められないか。

教育部長 黒瀬城跡は広大な敷地や多様な防

御施設があり、調査には相当の時間を要しますので、まずは古代ロマンの里構想を進めさせていただいた上で、史跡指定も含めた取り組みを検討します。各種団体に協力をいただく活動は、大変有意義な取り組みと考えられ、遺跡の価値を損なわないよう、土地の改変を伴わない形で環境整備を進められるよう検討します。

問

今秋も例年どおり一時宇和町山田地区にコウノトリやツルが飛来。一方、長かった地元農業関係の工事も先日全て完了したので、田園ロマンの里づくり基金により、今までは違った新たな取り組みができないか。

福祉部長

26年度からの新しい取組として、地域や市民活動グループとの連携や支援支援について鋭意検討します。また、県が計画している生態系保全施設整備事業による溜池活用の餌場づくりや、ねぐら環境整備等に積極的に関わり、取り組みの幅をより広めていきます。



宇和町山田地区に飛来したナベツル11羽

AIの力で地域に笑顔を

～えひめAIほかしを用いた豚舎の防臭効果と土壌改良について～

山口優也・兵頭穂乃花・坂本絆・濱田舞衣・兵頭美香

最優秀賞(文部科学大臣賞)

第64回 日本学校農業クラブ全国大会 (10/22～24)

プロジェクト発表会 環境部門

野村高等学校 畜産科



山口 優也

発表では、興味を持ってもらう為に、滑舌や読むスピード・強弱に注意しました。愛媛大会より勝ちあがるたびに内容を濃くして自信をつけていきました。研究では、保温箱を手作りしたり、商品化するのに大量のほかしをふるいに掛けたり大変でした。



兵頭穂乃花

発表の後半を担当しました。ストップウォッチを片手に練習し、9分55秒を目標に調整しました。



坂本 絆

見て頂く方に見易いようにスライドを工夫しました。ほかしの販売では、チラシを作って、説明しながら販売しました。高校祭では、文部科学大臣賞受賞と書いて販売しました。



濱田 舞衣

昔と現在の資料の整合を取るのが大変でした。(ちなみに、資料の厚さは20cmを超えるものになりました。)



木下和久 教諭

7年前にEM菌で研究が始まり、5年前よりえひめAI(ヨーグルト・納豆・ドライイースト・砂糖に水を加えて1週間培養したもの)で行うようになり、2年前より豚に食べさせて防臭効果を検証していました。今回の発表は、優秀な5人が力を合わせて成したものです。



兵頭 美香

大会では、スライドを動かす担当をしました。ちょっとしたハプニングもありましたが、無事に終了する事が出来ました。

※えひめAIほかしに関する問い合わせは、野村高校畜産科まで